

2023年度 日本工学院専門学校

マンガ・アニメーション科四年制

業界ビジネスゼミ 4

対象	4 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	畑・神田（C&R社）内田			実務経験	有	職種	人材派遣				

授業概要

以下の3つの側面を学び、アニメ・マンガ・ゲーム分野のプロデュース能力を身につける。

①チーム全体を率いるリーダーシップ、及び、他社との関係を調整して調整能力を併せ持つ経営者としての側面

②作品を見極める眼、優秀な製作スタッフやキャストを見極め集める能力、制作技術の理解といったクリエイティブプロデューサーの側面

③企画から資金調達、予算管理、運営、回収までの一連を理解するビジネスプロデューサーの側面

到達目標

イベントの企画・運営を通じてイベントの流れを把握する。

- ・企画の実現に向けて予算建て・プレゼン・折衝が出来る
- ・イベント台本・香盤を作成し運営が出来る
- ・ターゲットの要望に応えられる魅力的なイベントが企画できる
- ・動画制作や配信などイベントをアーカイブ化しより沢山に人に届けられる。

授業方法

企画力・運営力を身につけ向上させるため年間4回のイベントをグループワークをにて実施、その過程で周りの意見をどのように取り入れるか、見る側がどのように捉えるか学ぶ。

アンケートの分析等を行うことで、世代に合わせた企画とはどういったものなのかを知るだけでなく、マーケティングの重要性を身につけることで企画力・運営力を向上させる。

成績評価方法

企画力	40%	企画立案に対しどれだけアイデアが出せるか、また周りを説得できるかを評価
運営力	40%	イベント運営に対しどれだけ積極的に貢献できるかを評価
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価

履修上の注意

イベント企画はグループワークで行うため、自分の意見を持ちそれを発言することは勿論、他人の意見をしっかりとくみ取ることにも努力する事。また常に業界の動向にアンテナを張り最新動向をキャッチアップするだけでなく、キャッチアップした情報をどう活用できるか考え、それを実習内で活かすことで業界に関わるビジネスマンとしての自覚を持つこと。

グループワークが中心の実習となるため無断での欠席や遅刻は絶対にしない事。

教科書教材

内容に応じて資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

回数	授業計画
第1回	アイデア出し、企画のドラフト作成とブラッシュアップ
第2回	企画書作成、ブラッシュアップ、プレゼン準備
第3回	教員に対しプレゼンを行い、実施の決裁を得る。通った案をもとに依頼書を作成し、集客方法と集客スケジュールをた
第4回	企画書に決裁者の意見を反映させ、講演日までのスケジュール作成と役割分担を行う。依頼書作成し、講演者に依頼をおこなう
第5回	当日の準備物を作成し、香盤表を完成させる。リハを行い、最終確認を行う
第6回	集客人数、アンケートの結果分析等を行い、報告書を作成し、アーカイブを行う

2023年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
業界ビジネスゼミ 4	
第7回	卒展に向けたイベントのアイデア出しを行う
第8回	卒展に向けたイベントの集客方法を検討する
第9回	これまでの授業で身に付けたノウハウを活かし、卒業制作イベントの企画立案、プレゼン、予算取り、準備、告知集客を行い、卒展を成功させる。①
第10回	これまでの授業で身に付けたノウハウを活かし、卒業制作イベントの企画立案、プレゼン、予算取り、準備、告知集客を行い、卒展を成功させる。②
第11回	これまでの授業で身に付けたノウハウを活かし、卒業制作イベントの企画立案、プレゼン、予算取り、準備、告知集客を行い、卒展を成功させる。③
第12回	これまでの授業で身に付けたノウハウを活かし、卒業制作イベントの企画立案、プレゼン、予算取り、準備、告知集客を行い、卒展を成功させる。④
第13回	これまでの授業で身に付けたノウハウを活かし、卒業制作イベントの企画立案、プレゼン、予算取り、準備、告知集客を行い、卒展を成功させる。⑤
第14回	これまでの授業で身に付けたノウハウを活かし、卒業制作イベントの企画立案、プレゼン、予算取り、準備、告知集客を行い、卒展を成功させる。⑥
第15回	これまでの授業で身に付けたノウハウを活かし、卒業制作イベントの企画立案、プレゼン、予算取り、準備、告知集客を行い、卒展を成功させる。⑦